

【オリコンサルグローバル サウジ政府系エネ機関と意見交換】

サウジ政府系エネ
機関と意見交換

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、重要市場と位置付ける中東地域でのエネルギー分野の協力推進に向け、サウジアラビアの政府系エネルギー機関であるKing

Abdullah City for Atomic and Renewable Energy（K・A・CARE）（Saudi Electricity Company（SEC））と13、14の両日に意見交換した。米澤栄二社長らが両機関を訪ねて面談した。

同国の再生可能エネルギーと原子力分野の科学・研究機

関であるK・A・CAREからは、オリコンサルグローバルが提案するエネルギーマネジメント技術について、再生可能エネルギーを導入するオフレッド地域への全国展開を期待するとのコメントがあり、それらの事業投資についても意見を交わした。

約45の発電所を所有し電力の発電、送電、配電を一手に担う電力会社のSECからは、電力運用への再生可能エネルギー導入が本格化する中で、エネルギーマネジメント技術への強い関心が示された。同社は今後、両機関と協力して、エネルギーマネジメント技術の実証を行う予定だ。